

国民民主党埼玉県第6区総支部県政担当
まちだ皇介 後援会ニュース 号外

連絡先 まちだ皇介後援会
〒362-0015 上尾市緑丘 3-6-32
TEL 048-793-4811
FAX 048-776-8213

まちだ皇介

県政改革、一直線！ 上尾・伊奈・県民生活の向上

人口減少、高齢社会を迎え、社会の体系が大きく変わる中で、年代を問わず多くの皆さんが将来に不安を抱えています。

これまでの人口増加を前提とした制度設計を時代の変化に応じ、時代に即したものにし、不安を解消することが政治の仕事だと考えます。

まちだ皇介は、上尾・伊奈・県民生活の向上のため、県政改革に一直線に取り組んでいきます。



まちだ皇介が目指す！
上尾・伊奈・県民生活の向上

暮らしを改革！



畠山市長、大島町長とも意見交換しながら連携していきます。

▶ 広域連携で住みよい地域へ前進

将来を見据えれば、サービスなども含め、近隣の自治体間で連携していくことが、持続可能な自治体運営、住民サービスにつながると考えます。

既に上尾市と伊奈町は、斎場つつじ苑の運営や消防通信指令業務の共同運用、図書館の相互利用など連携しています。今後は、広域ごみ処理施設の整備に加え、消防や水道、交通、産業振興、公共施設の相互利用など、あらゆる分野で広域連携を考える必要があります。

持続可能なまちへ。**暮らしを改革！**

- ▶ 安心して結婚・出産・子育てができる環境整備
- ▶ 医療・介護体制の充実と多世代参加型健康づくりの促進
- ▶ 地域・行政・関係機関が連携した防犯・防災体制の推進
- ▶ 持続可能な社会の担い手を育成する教育の推進



まちだ皇介が目指す！
上尾・伊奈・県民生活の向上

まちづくりを改革！

上尾運動公園を全国に誇れる一大スポーツ・健康拠点に

県では、水上公園の施設の老朽化などを踏まえ、「健康づくり」などの機能をもつ新たな賑わい施設を有する公園の再整備の検討を進めています。また畠山市長が県議時代に推進してきた屋内50mプールを含む、スポーツ医・科学拠点施設、屋内水泳場整備基本計画の策定も進めているところです。水上公園の再整備に加え、これらの施設が仮に上尾運動公園に誘致されれば、県内だけでなく県外からの更なる交流人口の増加や地域活性化、多大な経済効果も見込まれます。

畠山市長や市議会とも連携をしながら、これらの施設を上尾に誘致をし、スポーツ都市、健康都市・上尾といえるような全国に誇れるまちにすべく努力していきます。

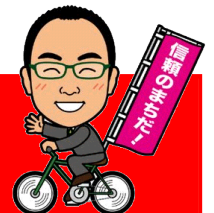
全国に発信できる魅力あるまちへ。まちづくりを改革！

- ▶ 屋内50mプールの整備など上尾運動公園の魅力の向上
- ▶ 2020オリンピック・パラリンピックを契機とした魅力発信
- ▶ 交通の利便性など特性を活かした産業振興と雇用の確保
- ▶ 上尾・伊奈のスポーツ・文化・歴史を活かした観光施策の推進



まちだ皇介 プロフィール

1979年7月31日 桶川市生まれ
前上尾市議会議員(三期)・前上尾市議会副議長
国民民主党埼玉県総支部連合会 副幹事長



◆ 経歴

桶川西中学校、蕨高校、日本大学商学部卒業
テレビ番組制作会社、代議士事務所スタッフを
経て、2007年に上尾市議会議員に初当選
(当選時、最年少28歳)

○まちだ皇介が政治を志した理由

桶川市川田谷で二人兄弟の長男として生まれました。おじいちゃん、おばあちゃん子で、小さい頃は実家が養鶏場を営んでおり、卵の採取や販売、ひよこの面倒を見た思い出があります。思い返すと、農村部だったこともあり、近所のおじさんやおばさんによく面倒をみてもらったり、悪いことをすれば叱られたり、地域の子どものとして育ててもらいました。その頃、祖父は政治に携わっていました。祖父は、地域の声を聞いて世のため人のために行動し、間違っているものは間違っていると貫き通す昔堅気な姿勢で政治に向き合っていました。

◆ 家族

妻、長男(1歳)、愛犬・茶々丸(メス)

◆ 特徴

「こう見えても、39歳。」身長188cm

◆ 趣味

スポーツ観戦、ソフトボール、グランドゴルフ、フットサル、愛犬の散歩

そして、県内の高校、都内の大学を卒業した後、テレビ番組の制作会社に就職して、主に朝の情報番組の制作に携わりました。番組では当時、連日政治家のスキャンダルや不正などを取り扱っていました。この時私の中に、自分自身が感じるこの「政治に対する不信感を払しょくし、信頼される政治に変えたい。」という思いが大きくなりました。その思いを実現するために、代議士事務所のスタッフを経て、2007年、28歳で上尾市議会議員選挙に立候補をし、初当選。これまで自治体議員として改革を一步でも進められるよう取り組んできました。